

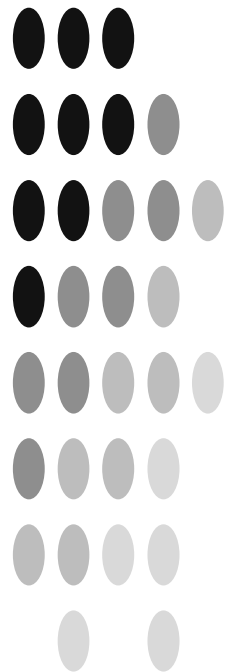
(一般社団法人)



日本画像学会

2019年度表彰

学会賞 小林範久
功労賞 半那純一、北岡義隆、辰巳節次
論文賞 前嶋麻緒、工藤帆乃香、大貫甫、
栗原千尋、木山景仁、田川義之
技術賞 株式会社リコー / 西村秀明、小篠 団、羽橋尚史
セイコーエプソン株式会社 / 角谷繁明、山崎郷志、宇都宮光平
研究奨励賞 原田祥宏、濱野 光、大矢貴史
会長特賞 藤井雅彦、鎰谷賢治、電子写真技術部会
フェロー 門永雅史、柴田博仁
日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞
月山陽介



2020年6月26日(金)

TKP市ヶ谷カンファレンスセンター / Teams会議

学会賞(第22回) 1件

小林範久(こばやし のりひさ)(千葉大学)

研究題目：『電気化学素子を主体とした画像表示技術に関する研究』

受賞理由：電気化学的手法による表示素子、発光素子の研究を初めとして、多くの画像表示技術に関連する研究を進めている。カラー電子ペーパーの有力候補として有機エレクトロクロミック材料に関する研究を精力的に行い、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックに着色する材料を見出し、積層構造によりフルカラー表示を可能にした。銀析出型エレクトロクロミック素子、ビスマス電着型エレクトロクロミック素子などに関する活発な研究活動も展開しており、画像表示技術における貢献は極めて大きい。



功労賞(第25回) 3件

半那純一(はんな じゅんいち)(東京工業大学)



受賞理由：2015年まで10年以上の長期にわたり、日本画像学会の理事と国際交流委委員長を務められ、さらに、2012年から2期4年間、学会長として、学会の活動と運営に多大な貢献をされた。

北岡義隆(きたおか よしたか)(パナソニック)



受賞理由：2009年より、6年間にわたって日本画像学会の理事を務められ、さらに同期間に関西委員長として、学会の活動に多大な貢献をされた。

辰巳節次(たつみ せつじ)(元富士フイルム)



受賞理由：2010年より、7年間にわたって日本画像学会の理事を務められ、さらに2011年からは5年にわたり財務委員長として、学会の活動に多大な貢献をされた。

論文賞(第34回) 1件

「PVA ゲルを用いた新規インクジェット射出速度の制御手法」 通巻237号58巻(2019) 1号 pp.19-27

前嶋麻緒(まえしま まお)、工藤帆乃香(くどう ほのか)、大貫 甫(おおぬき はじめ)、
栗原千尋(くりはら ちひろ)、木山景仁(きやま あきひと)、田川義之(たがわ よしゆき)
(東京農工大学大学院 工学研究院)

受賞理由：高粘度液体の射出を可能とする新規インクジェット射出機構に関する報告であり、PVAゲルを用いた射出速度の制御に関して、定量的な評価と明快な論理展開によるジェット射出制御機構の解明を行っている。本技術は、ジェット射出機構に対し、キャビテーション(気泡)を積極利用したものであり独自性・新規性が高い。特に、圧力伝搬モデルを用いた解析と実験的な検証により、理論と実証の両面から制御メカニズムを明らかにした点が高く評価される。また、実験方法や考察が類似の研究分野にも波及しうる内容であり、今後の研究・開発の発展が期待される技術である。



前嶋麻緒 (Mao MAESHIMA)



工藤帆乃香 (Honoka KUDO)



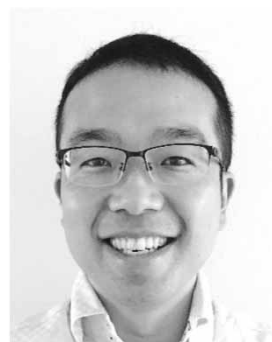
大貫 甫 (Hajime ONUKI)



栗原千尋 (Chihiro KURIHARA)



木山景仁 (Akihito KIYAMA)



田川義之 (Yoshiyuki TAGAWA)

技術賞(第29回) 2件

技術：『新規乾燥技術を搭載した高速インクジェット連帳機「RICOH Pro VC70000」の開発』

株式会社リコー

西村秀明 (にしむら ひであき)、小篠 団 (おざさ だん)、
羽橋尚史(はばし ひさし)

受賞理由：「RICOH Pro VC70000」において開発した乾燥技術は、複数の加熱ローラに用紙を繰り返し巻き付ける構成を採用することによって、用紙のシワ(コックリング)を抑制しながら、インクの乾燥性を大幅に向上させることを可能にしている。これにより、装置サイズ、消費電力を前身機と同等に抑えながらも、オフセットコート紙への印刷速度として最大150m/minを実現した。さらに、乾燥技術とインクの組み合わせにより、色再現範囲、印刷濃度も大幅に拡大させ、オフセット印刷に迫る高画質印刷を可能にしている。



西村秀明 (にしむら ひであき)



小篠 団 (おざさ だん)



羽橋尚史(はばし ひさし)

技術：『位置ずれに対するロバスト性向上ハーフトーン技術の開発』

セイコーエプソン株式会社

角谷繁明(かくたに としあき)、山崎郷志(やまさき さとし)、
宇都宮光平(うつのみや こうへい)

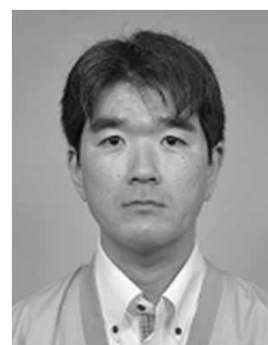
受賞理由：インクジェットプリンタヘッド往復操作起因の着弾位置ずれは、平均画質を低下させ、機体間ばらつきを大きくする主因であった。これらの画質劣化要因を解消するため、ずれ発生による粒状性劣化メカニズムを解明し、その原因解消を行っている。本技術により、往復操作ずれが発生しても粒状性が劣化せず、インクジェットプリンタの画質を大幅に向上させることを可能にした。



角谷繁明(かくたに としあき)



山崎郷志(やまさき さとし)



宇都宮光平(うつのみや こうへい)

研究奨励賞(第27回) 3件

メディアに着弾したインク滴の増粘過程の計測

原田祥宏(はらだ よしひろ)(株)リコー)



受賞理由：メディアに着弾したインク滴の増粘過程を動的散乱法により観察を可能にし、あわせて、ドット形成挙動の特徴を明らかにした。

循環流路を二つ持つシアモードインクジェットヘッド

濱野 光(はまの ひかる)(コニカミノルタ(株))



受賞理由：独自の技術であるハーモニカ構造チップのヘッド性能評価(気泡排出性、デキャップ、循環流路クロストーク、温度分布)を行い、優位性を示した。

柔軟性を有するシリコン薄膜のバイオセンサへの応用研究

大矢貴史(おおや たかし)(早稲田大学)



受賞理由：心筋細胞の収縮への影響が回避できる薄膜センサ基板を用いた低侵襲生体モニタリングを可能にするセンサを開発した。

会長特賞(第19回) 3件

藤井雅彦(ふじい まさひこ)(富士ゼロックス)



受賞理由：インクジェット技術交流会の立ち上げ、さらに 4DFF 研究会の立ち上げなど、当該技術分野の発展に寄与し、また幅広く学会活動を推進していただいた。

鎡谷賢治(かぎたに けんじ)(リコー)



受賞理由：画像感性技術部会の推進や、日本視覚学会とのコラボ企画、講習会開催などにより、会長方針、学会ビジョンの重要項目の一つである感性領域の強化を推進された。

電子写真技術部会(日本画像学会)

受賞理由：2018年の日本画像学会創立60周年と、電子写真法生誕80周年を記念した複写機遺産認定事業を創設し、第一回の表彰と記念行事を完了された。



フェロー(第7回) 2件

門永雅史(かどなが まさみ)(株式会社リコー)



受賞理由：1989年の株式会社リコー入社以降、長年にわたり電子写真プロセスやインクジェットの数値シミュレーション技術の研究開発に従事されており、放電が関与するプロセス(帯電・転写)の数値計算技術開発やインクジェット液滴の飛翔、着弾過程の数値解析技術開発など、独創的な研究をされており、また、その成果は、多くの技術者に有用な知見となっている。学会活動にも尽力されており、上記研究成果を、日本画像学会誌をはじめとする学会で多くの論文を発表され、また、日本画像学会シミュレーション技術部会主査として、企業横断的な画像技術の高度化と普及にも尽力されてきている。

柴田博仁(しばた ひろひと)(富士ゼロックス)



受賞理由：紙と電子メディアの価値・効用を客観的に比較し、読み書きのメディアとして紙の価値を再認識し、また、紙がなぜ読むためのメディアとして好まれているのかを解明し、その知見を電子デバイスの開発に応用する研究を行っている、特に、文書は目だけでなく手で読むものという独自のコンセプトのもと、一貫してメディアの操作性が読みのパフォーマンスに及ぼす影響を実験的に検討し、このコンセプトを検証する結果を発表してきている。これら一連の研究は、書籍や多数の学術論文や国際会議論文として発表され、高く評価されている。近年は、日本画像学会誌への論文投稿もあり、同じく学会誌の特集記事編集に協力いただくなど、今後ますますの学会貢献が期待できる。

日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞 (第15回) 1件

月山陽介(つきやま ようすけ)(新潟大学)

研究題目：『給紙メカニズムの解明と用紙紙粉脱落の解析』

受賞理由：プリンタ用紙搬送という一見成熟した技術分野において、技術的に新たな視点による学術研究により、その安定化を図るための提言を行っている。具体的には、ゴムローラの真実接触面観察や表面分析技術を開発し、ローラへの紙粉付着が摩擦力に及ぼす影響に関して、新たな学術領域を開拓した。さらに、摩擦を使用した用紙評価技術も開発した。本手法はゴムローラを測定対象の紙に対してすべらせる簡便な評価法であり汎用性が高い。最近では、複写機給紙分野に限らずサーマルプリンタの画質を左右するプラテンローラと熱転写ヘッドの伝熱特性の最適化に関する研究へと技術展開している。このような成果は、広く柔軟媒体や軟構造体搬送機器における接触現象解明へとつなげることができ、今後のさらなる進展が大きく期待される。



受賞者リスト

学会賞

1993 井上英一
菊池真一
1994 三川 禮
1995 小門 宏
坂田俊文
1996 河村孝夫
1997 木原信敏
1998 本庄 知
1999 栗田隆治
2000 遠藤一朗
2001 高橋恭介
2002 横山正明
2003 碓井 稔
平倉浩治
2004 村山徹郎
2005 水口 仁
2006 竹内 学
2007 細矢雅弘
2008 半那純一
2009 星野勝義
2010 北村孝司
2012 川本広行
2013 面谷 信
2016 内藤裕義

功労賞

1993 木脇久智
近藤厚實
1994 窪田啓次郎
坂巻資敏
松井 茂
1995 今村舜仁
中村堅一
1996 柿井俊一郎
江田研一
1997 野田栄三
山本 隆
1998 昼間健治
山口隆司
1999 高島祐二
土屋元彦
2000 田嶋紀雄
2001 情野國城
2002 本庄 知
滝口孝一
2003 小口寿彦
2004 大野 信
北村孝司
木村正利
2005 横山正明
鈴木 明
2006 鈴木弘治
高橋 通
星野坦之
2007 中山喜萬
深瀬康司
2008 水口 仁
竹内 学
中村俊治
2009 五十嵐 明
正道寺 勉
富樫光夫
2010 平倉浩治
岡 建樹
2012 山崎 弘
大西 勝
2013 中居仁司

2014 阿部隆夫
緒方信康
伊藤 昇
2016 松木 眞
堀田吉彦
2017 伊藤哲也
永瀬幸雄
北久保茂
2018 川本広行
細矢雅弘
稲垣俊彦

会長特賞

2000 羽根田 哲
2001 情野國城
Min-Kai Tse
2002 安達春夫
2003 平原修三
安達昭三
2004 金 栄順
上原利夫
安藤祐二郎
2005 金 銀慶
2006 稲垣敏彦
緒方信康
2007 武田布千雄
中島淳三
Inan Chen
2008 板谷正彦
2009 木村正利
今井 力
2010 長山智男
2011 長谷部 恵
2012 鶴岡亮一
2013 酒井真理
神野文夫
竹内達夫
2014 北岡義隆
2016 深瀬康司
2017 三矢輝章
大嶽英宗
中山信行
2018 中島一浩

研究奨励賞

1984 武田布千雄
1985 梨木恵一
1986 高橋隆一
1987 笠井利博
1988 小田 元
佐々木幸雄
山本 肇
1989 小寺宏暉
柳田和彦
1990 細矢雅弘
松井乃里恵
山口康浩
1991 面谷 信
田中俊春
弘重祐司
1992 上原康博
松井利一
1993 赤木秀行
園田泰子
堀田吉彦
1994 梅田 実
古川和彦
村井和昌
1995 天野哲也
勝目 正
古谷信正

1996 長山智男
平本昌宏
松本卓士
1997 小谷野 武
平川弘幸
山口幸生
1998 中山信行
李 源涉
1999 久保田哲行
趙 国来
福本 宏
2000 原田陽雄
高橋朋子
2001 金澤祥雄
水口由紀子
2002 平林 純
村本秀也
2003 町田義則
長山智男
大石亮太

2004 中嶋道也
紅林良之
真常 泰
2005 春原聖司
藤本慎也
2006 田中俊介
坂本 祥
大野 玲
長山智男
伊藤めぐみ
2008 遠藤 寿
中川靖子
木内 豊
2009 井上園美
田中里美
2010 由井悠基
西浦美都子
2011 井辻健明
斎藤和広
渡辺 壮

2012 青野博之
江口弘樹
八田 達
2013 佐竹まどか
田中孝幸
坪井彩子
2014 飯野裕明
安藤正登
楠見嵩史
2015 Kazuki Nakamura
Yukihiro Hatae
高木謙一郎
2016 高橋良輔
飯野裕明
水戸川輝大
2017 浜本貴紀
大矢貴史
塩野郁弥
横山優樹
塩飽 黎
佐野翔一

名誉会員

2001 井上英一
近藤厚実
窪田啓次郎
三川 禮
坂田俊文
2002 小門 宏
今村舜二
2003 河村孝夫
江田研一
2004 高橋恭介
2008 横山正明
2011 田嶋紀雄
高橋 通
2012 平倉浩治
北村孝司
2013 水口 仁
中山善萬
2016 半那純一

フェロー

2013 上原利夫
上原康博
面谷 信
川本広行
内藤裕義
西 真一
星野勝義
堀田吉彦
2014 半那純一
小林範久
長山智男
2015 中山信行
酒井真理
2016 鈴木千秋
平林 純
寺尾博年
2017 前田秀一
2018 中村一希

日本画像学会コニカミルタ 研究奨励賞

2005 山口留美子
2006 谷中一寿
2007 水口 仁
2008 渡邊敏行・平田修造
2009 小林範久
2010 面谷 信
2011 関谷 毅
2012 梅津信二郎
2013 藪 浩
2014 並木則和
2015 長谷川靖哉
2016 田川義之
2017 江良正直
2018 矢口博之

日本画像学会コニカミルタ 研究賞

2005 藤本慎也
2006 坂本 祥
2007 土井孝次
2008 遠藤 寿
2009 井上園美
2010 浅井敏明
2011 井辻健明

論文賞

- 1977 本庄 知、田口誠一
1981 高橋 通、細野長穂、神辺純一郎、豊野 勉
1983 下木原 滋、加藤義明、板倉良介、横山正明、三川 礼、高島祐二、石田英輔、粒崎 繁、弓場上恵一、下間 亘
1985 河村尚登、門脇秀次郎、北島信夫
1987 武田布千雄、坂本康治、小林一雄
1989 寺尾和夫、稲葉 繁、伊藤健介
1991 松井乃里恵、岡 孝造、稲葉義弘
1993 細矢雅弘、斎藤三長、佐々木幸雄、木村正利、中島淳三
1994 池側彰仁、後藤 浩、岩佐英二、江ノ口祐次
1995 岩田尚貴、鈴木弘治、西土和宏、沢田 彰
1996 村井和昌、小勝 斉、喜多伸児
1997 本間寿一、横山正明
1998 保坂靖夫、中尾英之
1999 宮坂 徹、山本雅志、島田 昭
2000 水口 仁、遠藤彩映、松本真哉、平林 純、高橋 通
2001 情野國城、弓削静雄、上村正雄、船山康弘、堀健志、吉井朋幸、上菌 勉
2002 渡辺 崇、近内健護、星野坦之
2003 小寺宏暉
2004 水口 仁、今永俊治
2005 真常 泰、八木 均、高橋正樹、石井浩一、高須 勲、細矢雅弘、牧野崇史、井村康朗、日達昭夫、岩田昭平、水口 仁
2006 物部祐亮、山下春生、黒沢俊晴、小寺宏暉、藤山高広、杉本賢一、関口未散
2007 面谷 信、小島 聡
2008 藤本慎也、前田博己、鶴岡美秋、中山健一、横山正明、岡田久雄、竹内 学
2009 情野國城、平原秀明、小沼崇明、吉田一郎、海江田省三、松坂修二、白井 聖、細尾康元、安田正俊
2010 西浦美都子
2011 尾崎敬二
2012 瀬尾 学、塚本武雄、法兼義浩
2013 村山雄亮、井手亜里、須原浩之
2014 坪井彩子、中村一希、小林範久
2015 Takayuki SHODA、Qi GAO、Akiteru FUJII
2016 Ryosuke TAKAHASHI、Nobuyuki HIROOKA、Tomoyuki ITO、Nobuyuki NAKAYAMA、Hiroyuki WATANABE、Hiroshi MATAKI、Seiichi INOUE
2017 原勝志、金子卓巳、柳内智和
2018 長谷部恵、前後武志、浜崎聡信、本杉友佳里、石原拓真

技術賞

- 1987 キヤノン(株) OPCとジャンピング現象を用いたカートリッジシステム、ミノルタカメラ(株)バイнда型小粒径キャリアを用いた現像システム(マイクロトーンニング方式)、(株)リコー 高感度積層型OPC感光体の開発
1991 キヤノン(株) 帯電ローラ/転写ローラシステムの開発、富士ゼロックス(株) 1パス2カラー電子写真プロセス技術、ミノルタカメラ(株) レーザ強度変調画像再現システムの開発
1992 キヤノン(株) ウェイトレス熱定着システムの開発、富士ゼロックス(株) 高画質デジタルカラーゼログラフィー技術、(株)リコー 4ドラムデジタルカラー電子写真システム
1993 日立工機(株) 高速レーザービームプリンタ用半導体レーザー光学系の開発、(株)リコー 省スペース高画質デジタルフルカラーPPCの開発
1994 富士写真フイルム(株) TA方式フルカラーハードコピーシステムの開発、松下電器(株) 感光体内部磁石を応用した小型1成分現像方法、(株)リコー 高分子/低分子複合型熱可逆記録材料の開発
1995 セイコーエプソン(株) Mach-Jet技術の開発、富士ゼロックス(株) ハイライトを重視した新規スクリーン技術“HIEST”、ミノルタ(株) ブックスキャナにおける歪補正技術
1996 アルプス電気(株) 高精細600dpi溶融熱転写印刷技術、(株)東芝、(株)テック 一成分非磁性現象を用いたクリーナレスプロセスの開発
1997 富士ゼロックス(株) 高精度タンデム・カラー・レジストレーション技術、日立工機(株) マルチヘッド斜め走査技術による超高速レーザープリンタ
1998 沖電気工業(株) 1200 dpi 高発光効率 LED ヘッド、富士ゼロックス(株) 高精度カラーマッチング技術(フレキシブルGCR、3D-ACCT)、山梨電子工業(株) 有機感光体の光感度制御技術
1999 キヤノン(株) デジタルフルカラー用重合トナーの実用化、富士ゼロックス(株) Color Laser Wind 3310「カラー高画質化技術」、松下電器産業(株) 消耗品をオールインワンカートリッジ化したカラーレーザープリンタ
2000 京セラミタ(株) 電子写真OPC用高性能電子輸送材料の開発、富士ゼロックス(株) 高画質フルカラープリンタ・複合機 DocuColor 1250/1255シリーズの開発
2001 沖デジタルイメージング(株) 高速高密度1200dpiLEDプリントヘッド、富士ゼロックス(株) オンデマンドカラープリンティングシステムColorDocuTech60の開発
2002 富士ゼロックス(株) 高画質と低環境負荷を両立する乳化凝集法チナー(EAトナー)の技術開発、(株)リコー 高速カラーレーザープリンタIPSiO Color 8000/8100シリーズの開発、キヤノン(株) 注入帯電クリーナーレスシステム
2003 キヤノン(株) カラーIH(電磁誘導加熱) 定着方式の開発、東芝テック(株) 電磁誘導加熱による定着器の開発、京セラミタ(株) 世界最小カラータンデムプリンタFS-5016Nの開発
2004 富士ゼロックス株式会社「面発光VCSELを用いた2400dpi レーザ露光装置の開発」、株式会社リコー「電気二重層キャパシタ補助電源による省エネ定着技術」
2005 富士ゼロックス株式会社「冷却剥離による高画質定着装置MACSの開発」、株式会社東芝「消せるトナー「e-blue™」の開発」
2006 パナソニックコミュニケーションズ株式会社「カラーIH定着器の加熱幅制御技術」、花王株式会社「新規粉砕法による高速高画質オイルレス対応ポリエステルトナー」

- 2007 京セラミタ株式会社「エコロジー対応A3カラータンデムMFP KM-C4035Eシリーズ機の開発」、株式会社アルバック・コーポレートセンター「独立分散金属ナノ粒子インクを用いたインクジェット印刷による導電膜形成」
- 2008 富士ゼロックス株式会社「自己走査型LEDを用いた1200dpiLEDカラー複合機の開発」
キヤノン株式会社「透明トナーによる電子写真画像表現多様化への挑戦 imagePRESS C1+」
- 2009 アルプス電気株式会社「1パスフルカラーダイレクトサーマル記録システム（ZINK）の実用化」
- 2010 富士ゼロックス（株）「新規EA-Ecoトナーの開発」、ブリヂストン（株）「電子粉流体を用いた高速応答型電子ペーパー「AeroBee」」
- 2011 キヤノン株式会社「ワンパスフォト印刷を実現したDreamLabo 5000の技術」、コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社「鮮やかな色再現でVividな価値を提供することに挑戦したハイクロマトナーの開発」、セイコーエプソン株式会社「中空粒子を用いた水性白色インク搭載のインクジェットプリンタ」
- 2012 株式会社リコー「リライタブルレザシステムの開発」、株式会社SIJテクノロジー「スーパーインクジェット技術の開発と実用化」、富士ゼロックス株式会社「プロダクションプリンタColor1000Press用インライン画像センサの開発」
- 2013 東芝テック株式会社「Loops（用紙リユースシステム）」、株式会社リコー「AC転写技術」、三菱製紙株式会社「プロダクションインクジェットプリンター用コート紙「SWORD iJET」の開発」
- 2014 富士フイルム株式会社「インクジェットデジタル印刷機JetPress720シリーズの開発」、綜研化学株式会社、大日本印刷株式会社「ツイストボール型電子ペーパーの商品化」、富士ゼロックス株式会社「高信頼ロングライフゼログラフィドラムユニットの開発」
- 2015 セイコーエプソン株式会社「薄膜ピエゾ技術、Si-MEMS技術を融合させたPrecisionCoreテクノロジーの開発」、ソニー株式会社、E ink Japan株式会社「A4フレキシブル電子ペーパーを用いたデジタルペーパーの開発」、富士ゼロックス株式会社「電子写真用金銀メタリックトナーの開発」
- 2016 三菱製紙株式会社「銀ナノ粒子インクと多孔質ハライド含有ペーパーによる焼成不要な導電性パターン形成技術」
- 2017 コニカミノルタ株式会社「新規UV硬化インクとハーフトーン・パターンニングによる高速・高画質形成技術」

技術研究賞

- 2013 平林 純
- 2015 八代 徹
- 2018 門永雅史
柴田博仁



【2019年度選奨委員会委員リスト】

委員長 内藤裕義* (大阪府立大学)
委員 面谷 信* (会長、東海大学)、佐藤利文 (副会長、技術委員長、東京工芸大学)、
長山智男* (広報委員長、リコー)、中村一希* (編集委員長、千葉大学)、
上原利夫* (トレックジャパン)、川本広行* (早稲田大学)、
小林範久* (千葉大学)、酒井真理* (東京大学)、鈴木千秋* (富士ゼロックス)、
寺尾博年* (アルプス電気)、中山信行* (富士ゼロックス)、西 真一* (コニカミノルタ)、
半那純一* (東京工業大学)、平林 純* (キヤノン)、星野勝義* (千葉大学)、
堀田吉彦* (リコー)、前田秀一* (東海大学)、
校條 健 (ICJ 2019副実行委員長、キヤノン)、
山田千晶 (ICJ Fall実行委員長、コニカミノルタ)

(* : フェロー委員)